



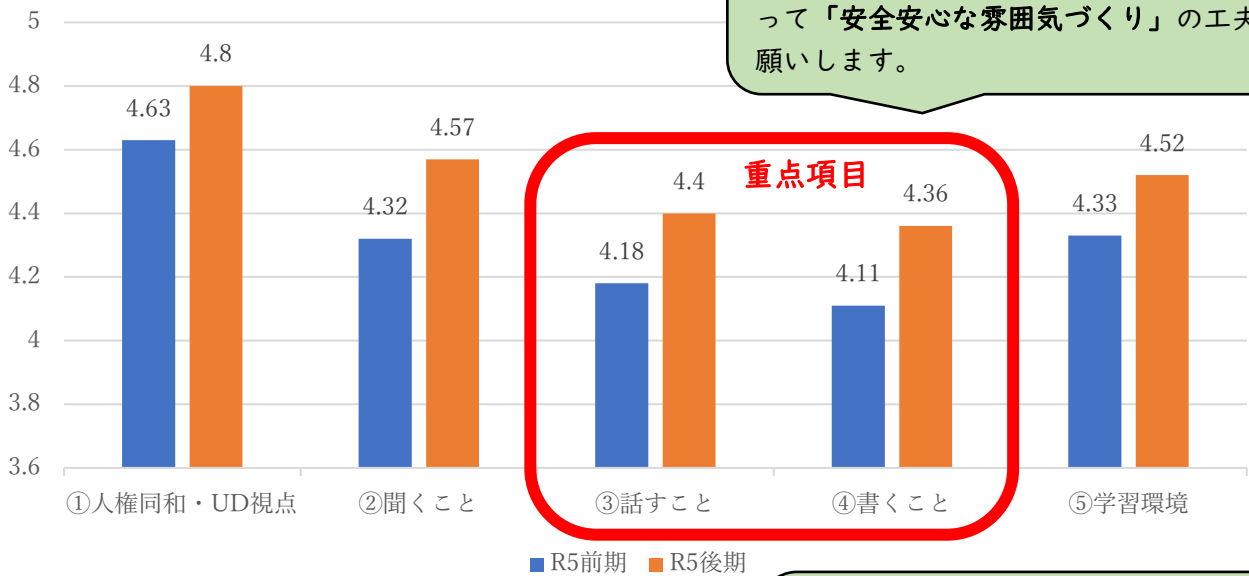
## 後期学校訪問（嶺南4町）まとめ号①



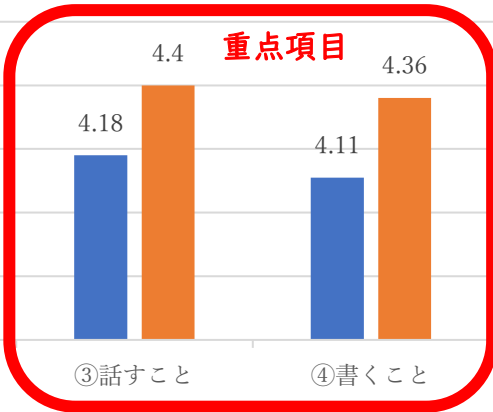
### 後期の自己評価（授業づくりシート）集計結果より

前期学校訪問から後期学校訪問までの「日々の授業」について、授業づくりシートを使って先生方に振り返りをしていただいたものです。（6段階評価）

授業づくりシート① アンケートの集計結果より

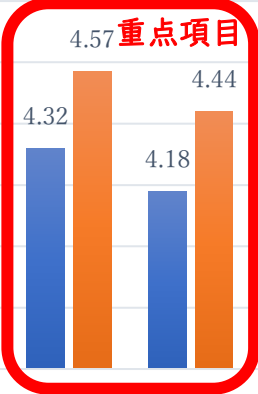


どの項目においても前期と比べて向上しています。引き続き、人権・同和教育の視点を持って「安全安心な雰囲気づくり」の工夫をお願いします。



どの項目においても前期と比べて大きく向上しています。児童生徒主体の授業づくりに取り組みながら、単元でつきたい力が確実に身につくように工夫していきましょう。

授業づくりシート② アンケートの集計結果より



後期学校訪問における指定・共同参観授業の参観を通して、良好であったこと（○）と次へのSTEP（★）について、お伝えします。



### ① 「対話」・「コーディネート」に関して

- 児童生徒にとってペアやグループで話し合うことが身近になっている。
- 教師が児童生徒から出た多様な意見に対して、「みんなはどう思う？」などの問い返しをすることで児童生徒同士をつなげている。
- 教師はペアやグループでの児童生徒の対話に耳を傾け、全体交流の際に意図的指名を行って学級全体に考えを広げている。
- タブレット端末を活用した意見の共有が、ペアやグループでの対話や全体での意見交流に生かされている。

★「どんなねらいに向かうための対話か」を児童生徒と共有しましょう。

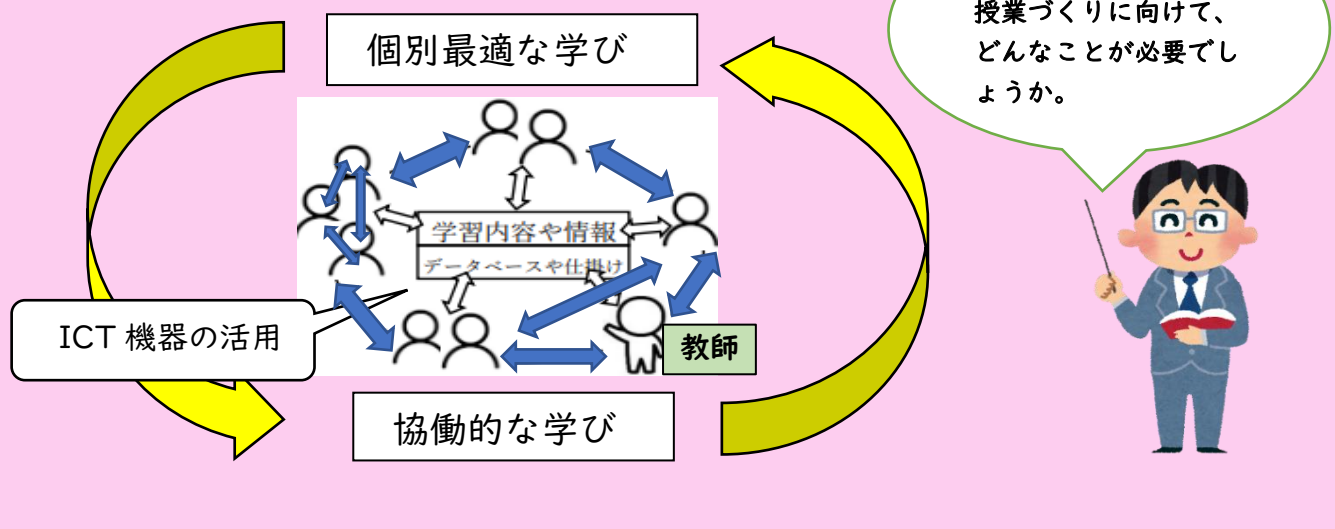
### ② 「児童生徒主体の授業づくり」に関して

- 教師が指示や発話を減らすよう意識している。
- 児童生徒の興味関心を引く導入を工夫したり、児童生徒から出てきた疑問点をもとに課題設定をしたりしている。
- 1時間の授業の中に、児童生徒が「自己選択」「自己決定」する場面を設けている。

★単元末や本時の終わりの評価における「おおむね満足できる状況(B)」について、児童生徒と共有し、児童生徒自身がその姿を目指して授業に臨めるようにしましょう。

ブラッシュアップ！

## 「求められている授業」



### ③ ICT 機器の活用

- 児童生徒が、一人一台端末の操作やタイピングに慣れ、スムーズな使用ができている。
- 学級全体で考えを共有する場面で、ICT機器を効果的に活用している。